



おぐに

2017

3

NO. 749





～晴天の中、雪遊び～

2月18日、小国小学校グラウンドで、杉沢スノーライダースちょすべ（佐藤一也代表）主催の「おぐにスノートレック」が行われました。親子連れなど約40人が参加し、スノーモービルの乗車体験やボート、バナナボートで楽しく遊んでいました。

バナナボートがスノーモービルに引かれてスピードが上がると、子どもたちの大きな歓声が会場中に響きわたりました。

地域と共に歩む学校 ～小国高校の特色ある教育～

全国的に人口減少・少子高齢化が進行する中、高校の募集定員の削減や学校の統合など高校を取り巻く環境は変化してきています。こうした中、本町で唯一の県立高校である小国高校も生徒数が減少しています。

小国高校は、他地域からの通学者を受け入れるための地理的条件には恵まれていませんが、他の高校にはない特色ある教育を行っています。そうした中、昨年11月には地域住民、企業、行政が一体となって高校を支援するため「山形県立小国高等学校を支援する会」が企業や関係団体の有志により設立されました。

今月は、小国高校で行われている特色ある教育について紹介しながら、今後の小国高校の支援の在り方について考えます。

小国高校の誕生

昭和23年4月に定時制高校として、普通科のほかに農業科や家庭科の3課程の山形県立小国高等学校が設立されました。

それまで小国の子どもたちは、高校に進学するためには他の地域に行くことを余儀なくされていました。昭和28年には全日制普通科が併設とな

り、翌29年4月には定時制が廃止されました。また、昭和33年4月には林業科が設置されるなど、時代ニーズに柔軟に対応し、多くの卒業生を輩出してきました。

平成10年10月に県から中高一貫教育実践研究協力校の指定を受けたことから始まり、平成13年4月には小学校を含めて文部科学省から小中高一貫教育実践研究開発学校として指定され、小・中・高にお

ける継続的な教育が行われるようになったとともに、地域の特色を生かした多彩な教育を展開しています。

特色ある教育

小国町では平成13年度から6年間文部科学省の指定を受け、小中高一貫教育の研究と実践に取り組み、指定が終了した平成19年度以降もそれま

での取り組みを継承しながら、町独自で小中高一貫教育の取り組みを進めてきました。

小国高校においても、一貫教育の柱である、地域学習とキャリア教育を行う「白い森学習」や英会話と情報活用などの学習を行う「国際・情報」などを継続的に実践し、変化の激しいこれからの社会を生き抜くために必要な人間力の育成を目指しています。

◇地域文化学

地域の人材・自然・文化などを取り入れながら、郷土を愛する心を育てることを目指し、1年生を対象に県内外の大学と連携し、講師を招いて地域のことについて知識を深めていく「地域文化学」を行っています。

地域文化学では、グループに分かれ個別の研究テーマを設定し、年間を通して大学教授等から直接指導をしていたりしながら研究を進めています。今年度は、5人の先生から指導をいただき、町の伝統工芸や食品開発、昔物語など



多岐にわたった学習に取り組んできました。

また小国高校では、平成18年に山形大学工学部と研究活動に関する協定を締結し、以降毎年夏休みを利用して、大學生と一緒に活動を行うなど共同研究に取り組んでいます。大学等との連携により、小国町だけでなく、山形県・全国各地・海外など他地域と比較することで、ものを見る視野を広げ、新たな価値観の創造につながったり、専門的なアプローチによって郷土の自然環境や文化に対するより深い理解を得ることができたり、より高度な大学の研究を経験することで、大学への興味関心や理解を高めるなどの効果をもたらしています。

◇国際理解教育

近年、社会経済や文化などの様々な面で国際化が急速に進展し、異なる文化を持った人々と共に生きる態度や積極的に自己を表現しようとするコミュニケーション能力を備えることが重要になってきて

研究テーマと指導いただいた講師の先生

地域資源をデザインする～体験からアイデアへ～
山形大学地域教育文化学部 准教授 齋藤 学 氏
ヤマウコギのポリフェノールを利用した食品開発
山形大学工学部大学院理工学研究科 名誉教授 尾形 健明 氏
昔物語の発祥地を巡る
東北文教大学短期大学部総合文化学科 特任教授 菊地 和博 氏
「oguu」制作～小国の伝統を今にアレンジ～
東北公益文化大学公益学部 教授 呉 尚浩 氏
幼児の遊び～手作り紙芝居を通して幼児と触れ合う～
羽陽学園短期大学専攻科福祉専攻 教授 柏倉 弘和 氏

います。小国高校では、各学年における段階的な国際教育に取り組んでいます。

1年時には、英国文化体験ができるブリティッシュヒルズ（福島県）への英会話宿泊研修を実施しています。ここでは、英国の生活体験をすることができ、食事や遊技場、買い物等さまざまな機能が備えられています。スタッフは全員が外国人のため、生活をするためには英語を使う必

特集 地域と共に歩む学校～小国高校の特色ある教育～

要があります。こうした施設での生活体験やグループに分かれてのレッスンなどを通して、英会話を身近に感じるとともに日本と海外文化との違いなどについて学習をしています。

また、2年時には小国高校の特徴でもあるアメリカロサンゼルスへの修学旅行を行っています。1年時に積み重ねた英会話学習の成果を本場アメリカに行き、自らの力で挑戦・経験することで、国際理解や英会話の重要性を認識することが可能となります。修学旅行では、現地にあるベニス高校との交流会が行われます。アメリカの高校生と交流する中で、英語で相手に思いを伝える難しさを感じ、英会話の必要性を認識するとともに、異文化を経験することで価値観を広げ、国際感覚を養うことができます。

さらに、3年時には修学旅行での体験をさらに深めるため、希望者による短期留学が行われています。留学先のコロラド州デンバーでは、ホス

トファミリーの家に滞在しながら、現地のイースト高校に通い授業を経験してきます。今年度は、3月11日から25日の15日間、3人の生徒が短期留学に行く予定です。

この他、実用英語技能検定（英検）などを受験する生徒も多く、今年度は2級合格者も輩出しています。さらに、国際理解を深める教育の一環として県から専属の外国語指導助手（ALT）が配置されているほか、アメリカからの留学受入など、高校生の時から英語力を応用できる場が身近に多く設けられています。

◇情報教育

近年、インターネットなどの情報手段の普及に伴い、情報化社会が飛躍的に進展し、今後さらなる発展が想定され、コンピュータ等の情報機器を活用することのできる基礎的な能力や情報モラルなどについて正しい知識を身につけることが必要とされています。小国高校では、日ごろからパソコンなどに触れる機会が多

く設定されており、情報教育を進めるとともに、各種のパソコン検定試験にも挑戦しています。毎年多くの生徒が各種検定試験に合格しており、今年度は情報処理検定で1級合格者2人を輩出しました。

挑戦する生徒に

昨年4月に赴任した小国高校の柿崎悦子校長に話を伺いました。

「小国高校では、生徒一人ひとりが活躍する場面がたくさんあります。小規模校であるからこそ、生徒会活動や地域行事への参加など生徒一人ひとりがさまざまな役割を担っています。生徒には何事にも挑戦する生徒になってほしいと言っています。それは、自分とは違う領域に入るということを意味し、高校生の時から大学に行って研究をしたり留学したりすることは挑戦です。高校生活を通して、自分の興味に気が付き、人生のターニングポイントが見つければ良いと思っています。」



山形県立小国高等学校
柿崎 悦子 校長

「昨年、町民や企業の方々にご協力をいただきアンケートを実施した結果、小国高校に期待されていることとして、大学進学と地元企業に就職できる人材の育成ということが明らかにまりました。小国高校では、通常の授業以外に放課後や夏休みを利用した講習を行い、全生徒が進学することのできる学力を育む環境を整えるとともに、これまでも行われてきた国際理解教育や情報教育、キャリア教育などに力を入れ、広い視野を持つ地域のことを考えることのできる生徒を育てていきたいと考えています。小国高校では、3年生の就職模擬面接の際に地元企業の方々に面接官をしていただくなど、様々な

特集 地域と共に歩む学校～小国高校の特色ある教育～

場面で地域の方々に協力をいただいております、とても感謝しています。」

高校を取り巻く環境

山形県では、急速に進む少

子高齢化によって、平成27年度以降の10年間で、中学卒業者が約1750人減少すると予想しており、社会変化に対応したさらなる高校教育改革が求められていることから、平成26年11月に「県立高校再編整備基本計画」を策定しました。この中で西置賜地区は、現在の12学級ある募集学級数を平成36年度には10学級程度とする「西置賜地区の県立高校整備計画」を平成23年3月に策定し、それに基づき、再編整備を進めるとしています。小国高校については近隣高校との距離が遠く、学校間連携が困難であることから単独校として教育内容の充実を図ると一定の配慮がなされています。

こうした中で昨年11月、民

間と行政が一体となり、全町民をあげて小国高校の存在意義と重要性を再認識し、さらなる特色と魅力に富んだ小国高校の教育環境づくりに協力・支援する体制を構築するため「山形県立小国高等学校を支援する会（以下「支援する会」）」が設立されました。

支援する会会長の安部昌晴さん（町原）は、「小国高校は、これまで6000人を超える卒業生を輩出しています。小国高校には、国際理解教育や地域文化学など他の学校にはない特徴的な教育があります。近年、入学者が募集定員に満たない状況が続いています。小国高校の現状や教育内容を町内外の多くのかたに知っていただくとともに、卒業生やPTA、後援会だけでなく町全体で小国高校を支援していく機運を高めるため本会を立ち上げました。今年度は準備期間として、来年度から本格的な活動を展開していくために、しっかりと準備をしていきたいと考えています。高校の主役は、子どもたちで



小国高校を支援する会
安部 昌晴 会長

す。子どもたちが何かをしようとするときに、私たちがそれをバックアップしていく体制を整えていきたいと考えています。小国高校が地域の学校として、多くの方々に選ばれるよう高校を支援して行きたいと思っています」と設立の経緯と今後の活動について話してくださいました。

次代を担う人材育成

少子化がますます進行する中、次代を担う人材の育成をするため、さらに魅力あふれる学校づくりが求められます。

町では、若者の意見や考えをまちづくりに反映させるため、小国町地域創生総合戦略策定懇談会やおぐにの未来を



おぐにの未来を考える会議に
小国高校生が委員として参画しています

考える会議（小国町次期総合センター整備基本計画策定に向けた町民による検討会）に小国高校生に委員として参画していただきながら計画策定を進めています。こうした取り組みを通して、先頭に立って地域を盛り上げていく若い人材の育成を目指しています。今後、小国高校のさらなる魅力づくりを進めるため、高校の各種活動に対して支援するとともに、新たな支援策の構築を図りながら、関係機関と連携し学校・地域・企業・行政が一体となつて小国の次代を担う人材育成に努めていきます。

平成29年第1回小国町議会臨時会

平成29年第1回小国町議会臨時会が、2月20日に開催されました。平成28年度一般会計補正予算などが審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

専決処分承認

1月中旬から下旬にかけての寒波により、町内各地で短期間に集中的な降雪に見舞われ、町民生活の維持と安全確保に向けて、雪崩の未然防止対策等に必要予算の確保に緊急を要したことから、除排雪経費5000万円を追加する補正予算の専決処分を1月30日に行いました。これについて報告し、承認されました。

一般会計に

3900万2千円を追加

一般会計では、専決処分以降も断続的に続いた降雪に伴い、不足が見込まれる町道除排雪経費を追加したほか、認定農業者等が行う農作業機械整備を支援することとし、合わせて3900万2千円を追加しました。これによ

り、補正後の同会計予算総額は64億5136万1千円となりました。

■土木費では、1月までの町道除排雪委託経費の実績が1億5千万円を超えており、2月の降雪実態や今後の降雪予測に鑑み、町道除排雪に要する経費等の所要額を措置しました。

■町内の農業者等が経営規模拡大や農作業効率化を図るために行う農作業機械の整備について、県の補助採択が内定したことから、担い手の確保・育成、経営強化のため、この整備に対し支援することとし、必要な経費を措置しました。






舟山 玲奈さん 佐藤 大雅さん

「生徒会活動を通して」

3年 佐藤 大雅

私が生徒会長に就任し、あっという間に1年が経ちました。就任当時は不安が絶えず、続けていけるのか心配でしたが、様々な行事を無事に終えることができました。私一人では大変だったことも、生徒会のメンバーや先生方の協力があったからこそ乗り越えられました。

特に学校祭では、昨年までと違った企画を計画したので、作業の進行が遅れたりハプニングもありました。しかし、多くの人の協力があり、何とか当日間に合わせることができました。

私は生徒会長として未熟なところばかりでしたが、周りの人の支えに気付き、助け合うことの大切さを知ることができました。3年生

が抜けた後の生徒会の中には、今年よりもっと良い学校を作ってほしいと思います。



「小国高校の思い出」

3年 舟山 玲奈

高校3年間は、これまでの人生の中で一番濃く充実した3年間でした。なぜなら、様々なことに挑戦し、そこから多くのことを学んだ実感があるからです。中でも特に印象に残っていることは、アメリカへの短期留学です。アメリカで、多様な人種、宗教、言語、価値観を持つ人たちと関わることで、彼らからたくさんの刺激を受けました。その経験を通して、留学前より柔軟な考え方、つまり、物事を様々な視点から考え、他人を尊重する姿勢を持つことができるようになったと感じています。私にとってこれは大きな成長だったと感じています。3年間、小国高校生として過ごす中で培ったことは、ここに書ききれないほどあります。その一つ一つを大切にし、これからも日々精進していきたいです。



平成28年度 みどり環境交付金事業



「白い森おぐに」 森林理解と体験活動の取り組みについて



町では、山形県みどり環境税を活用して、森林や農林業への理解、自然環境保全の意識の醸成を図ることなどを目的としたさまざまな事業を展開しています。ここでは、今年度の取り組み内容を紹介します。

白い森づくり体験事業



【植林・森林体験教室】

町内小学生の親子を対象に、植林体験のほか、森林インストラクター指導のもと、「飛ぶ種のクラフト」制作をし、森林体験学習を行いました。

植林の必要性を学ぶとともに天然林とのふれ合いを通して森林に関心を持ち、理解を深めることにつながりました。



植林体験



飛ぶ種のクラフト制作



森から拓く時代の生業づくり事業

【林業機械操作技術研修】

町内林業従事者がより安全に作業を行えるよう、町民を対象に刈払機やチェーンソーに関する安全衛生教育研修を行いました。



刈払機研修会



チェーンソー研修会

高収入品目植樹植栽事業



【広葉樹植樹】

短期間で所得の得られるクロモジ、キハダに着目し、森林経営を促進させるため町民参加の植栽事業を展開しました。



クロモジ植栽



キハダ植栽



環境対策事業

森林資源を利用した生ごみのたい肥化を行い、環境にやさしく自然の活力を活かした作物の生産につなげる仕組みづくりに取り組んでいます。できた野菜は、町内の保育園に給食の食材として提供しました。



作ったたい肥で野菜を生産

森林セラピー推進事業



森林セラピー基地「ブナの森温身平」の機能と景観を保ち、訪れる方々が快適に森林セラピーを楽しめるよう、下草の刈り払いなどを行いました。



セラピーロードの整備

環境教育推進事業



【自然環境観察】

町内の児童生徒と保護者を対象に、森林散策の中で身近な生物や危険な生物について学んだほか、川に生息する生物などを観察する自然観察会を行いました。

【地域学講座】

吉田岳氏（大石沢）の指導のもと、健康の森を歩きながら山菜やヤマツツジの花などの収穫を行いました。町の森林の現状や自然環境を知る機会につながりました。



いちにち昆虫博士



森の学校

■問合先 産業振興課森林振興担当（☎62-2408）へ

住所変更手続きにはマイナンバーカード・通知カードが必要です

住所手続きに来庁されるかたは、マイナンバーカードまたは通知カードを必ずご持参ください。

■転出届（町外に引っ越すかた）

- マイナンバーカードをお持ちのかたは、転入届の特例（転出証明書がいない転入）が受けられます。転出届と一緒にマイナンバーカードを窓口まで提出してください。
- マイナンバーカードをお持ちでないかたは、小国町での手続きはありませんが、通知カード表面の住所変更手続きが必要になります。引っ越し先の市町村に転入届を提出する際、引っ越すかた全員分の通知カードをご持参ください。

■転居届（町内で引っ越すかた）

- マイナンバーカードをお持ちのかたは、カード表面とICチップ内の住所変更手続きが必要になります。引っ越すかた全員分のマイナンバーカードをご持参ください。
- マイナンバーカードをお持ちでないかたは、

通知カード表面の住所変更手続きが必要になります。引っ越すかた全員分の通知カードをご持参ください。

■転入届（小国町に引っ越してくるかた）

- 転入届の特例を受けているかたは、手続きの際必ずマイナンバーカードをお持ちください。カードをお持ちいただけない場合、転入手続きが行えません。転出証明書をお持ちのかたもマイナンバーカード表面とICチップ内の住所変更が必要になりますので、引っ越すかた全員分のカードをご持参ください。ICチップ内の住所変更手続きでは、カード交付時に設定した暗証番号が必要となります。
- マイナンバーカードをお持ちでないかたは、通知カード表面の住所変更手続きが必要になります。引っ越すかた全員分のカードをご持参ください。

3・4月は窓口が混み合うため、お時間に余裕を持ってお越しください。大変ご迷惑をおかけいたしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

■問合せ先 町民税務課住民窓口担当（☎62-2260）へ

農業委員会制度が変わります

平成28年4月1日より「農業委員会法」が改正され、「農地等の利用の最適化の推進」が農業委員会の必須業務として位置付けられ、農業委員に加え「農地利用最適化推進委員」が新設されました。小国町では平成29年7月19日任期満了後に新制度に移行します。

■農業委員と農地利用最適化推進委員（推進委員）の役割

担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進のため、人・農地プランなど地域の農業者等の話し合いを推進するほか、農地パトロール、利用状況調査等を行います。農業委員と推進委員は密接に連携し、分担・協力して農業委員会の事務を行います。役割の違いとしては、以下のとおりです。

《農業委員》総会等において農地法に関する許認可の審査・決定を行う。

《推進委員》担当地区において活動を行う。要請があれば総会等に出席し意見を述べる。

■農業委員の選出方法が変わります

《農業委員》公職選挙法に基づくものから、推薦と公募により議会の同意を得て町長の任命制に変わります。

《推進委員》推薦と公募により農業委員会が委嘱します。

■農業委員と推進委員の定数

《農業委員…7人》認定農業者（過半）、女性、青年、農業分野以外の中立委員を含める

《推進委員…5人》本庁東南部、本庁北東部、南部、北部、東部（人・農地プラン）地域より各1人

■公募について 平成29年3月21日(火)から募集開始を予定しています。推薦または応募に関する詳しい内容については、小国町農業委員会へお問い合わせください。

■問合せ先 小国町農業委員会（産業振興課農地調整担当）（☎62-2408）へ

白い森の国“ふるさとおぐに” フォトコンテスト審査結果

白い森の国“ふるさとおぐに”フォトコンテスト審査会が、平成29年2月21日に行われました。応募総数173点（一般の部145点、町民の部28点）の中から、厳正な審査の結果、次の通り各賞が決定しました。

一般の部

最優秀賞	「きらめきの森」	鈴木清子 さん(茨城県つくば市)
優秀賞	「秋色に染まる」	徳江 昇 さん(福島県国見町)
	「黄金の田園風景」	竹内祐人 さん(小国町幸町)
入選	「秋のかじか滝」	安彦元玄 さん(小国町叶水)
	「秋の宴」	前田典子 さん(神奈川県横浜市)
	「白い森の夜明け」	山岡佳久 さん(東京都江戸川区)
佳作	「朝日をあびて」	山口愛子 さん(新潟県新発田市)
	「春の里山」	高橋昭和 さん(山形県東根市)
	「回顧の道」	本間静子 さん(埼玉県所沢市)
	「初雪の古道」	斎藤 徹 さん(山形県飯豊町)
	「我市野々に在り」	板垣 俊 さん(新潟県新発田市)
	「緑の映える頃」	志藤長雄 さん(山形県山形市)
	「早春の輝き」	本間信義 さん(小国町小玉川)
	「移ろう季節」	鈴木明吉 さん(山形県南陽市)
	「静寂」	古賀泰生 さん(神奈川県藤沢市)
	「春の使者」	会田彦夫 さん(山形県山形市)

町民の部

優秀賞（一般）

「わたぼうし」 渡部寿郎さん(叶水)
「白布大地」 竹田正志さん(北)

今年度もたくさんのご応募ありがとうございました。

入賞作品については、観光PRのため、小国町及び小国町が使用を認めた団体等が行う広報活動に使用させていただきます。

また、鈴木一雄審査委員長の講評と合わせて町のホームページで公開しています。

■問合せ先

産業振興課商工観光室
(☎62-2416) へ

地域資源活用域学連携事業

地域資源活用域学連携事業が、2月7日から13日までの期間、町内各所で実施され、早稲田大学などの学生13人が本町を訪れました。これは、大学と地域が連携し、地域資源の発掘や活用の手法を探り、地域のさらなる活性化を目指して実施しているものです。

山・川・つる細工・食農のテーマに分かれ、それぞれの分野のパンフレット制作や農産品のパッケージとマーケティングの提案をしたほか、雪掘り体験やウサギ狩り体験等を通じて地域の方々と交流しました。最終日には活動発表会が行われ、1年を通してのテーマごとの成果や今後進めたい方向性などが提案され、「地域の役に立ちたい」という想いがあふれる発表会となりました。



灯油購入費の助成について

1月の隣組回覧でご案内しておりますが、町では灯油購入費の助成の受付を行っております。

申請期限は平成29年3月31日までとなっておりますので、お済みでないかたはお早めに申請を行ってください。

平成28年度の町民税非課税世帯が対象となりますが、詳しくは健康福祉課までお問い合わせください。

■助成額

上限5,000円（1世帯あたり）

■申請場所

小国町健康管理センター

■持参するもの

- ①申請者本人の印鑑
- ②灯油を購入したことを確認できる書類
- ③助成金の振込口座を確認できるもの

■問合せ先

健康福祉課（☎61-1000）へ

～安全で安心なまちづくりのために～

防災行政通信システムがまもなく完成します

4月から町内全域で本格運用を開始します

小国町では、大雨や台風、大規模地震等の災害時における緊急情報や行政情報を町民の皆様迅速かつ正確に伝えるため、3月末を工期として防災行政通信システムの整備を進めています。このシステムは、広大な町土を有する本町の地理的環境や気象条件などに対応できるように、屋外拡声子局（スピーカー）と防災ラジオ（戸別受信器）を一体的に運用する複合システムとなっています。

屋外拡声子局は、町中心部や町指定の避難所など町内13カ所に設置をしています。また、防災ラジオについては、2月20日(月)から町内各家庭及び町内全事業所に1台ずつ配布をしています。**なお、防災ラジオは無償配布をしていますので、詐欺などにはご注意ください。**

家庭用ラジオとの違いは？

各家庭・事業所に配布をしている「防災ラジオ」は、平常時は家庭用のラジオとして使用できます。

災害等が発生し、小国町が情報を発信した場合には、強制的に電源が入り、災害などに関する情報が流れます。

また本格運用後は、7時・12時・19時に音楽や行政情報などを発信します。

※電源確保が条件となりますので、電源コードをコンセントにつなぐとともに、停電も想定されますので乾電池をセットしてください。

防災ラジオの維持管理等は？

防災ラジオは、町からの貸与品として1台ごと配布先を管理しています。他の人への譲渡、貸付または担保に供することはしないでください。

維持管理（電池・電気代）に係る費用については各自で負担をお願いします。

世帯員全員で町外へ転出する場合は、町民税務課窓口へ返却をお願いします。また、転居などにより1世帯に防災ラジオが2台以上貸与された場合、返却をお願いします。

防災情報の受信状況は建物などの状況により異なります。できるだけ窓際に配置してください。

■操作方法等の説明会を開催します■

今回配布した「防災ラジオ」の操作方法等に関する説明会を下記の日程で開催いたします。ご不明な点があるかたは、ご参加ください。

日 時	場 所	対 象
3月14日(火) 18:30～	旧北部小中学校	北部地区のかた
3月15日(水) 18:30～	旧沖庭小学校	沖庭地区のかた
3月21日(火) 18:30～	旧玉川小中学校	南部地区のかた
3月22日(水) 18:30～	水源の郷交流館	東部地区のかた
3月23日(木) 18:30～	旧白沼小中学校	白沼地区のかた
3月24日(金) 18:30～	おぐに開発総合センター	上記地区以外のかた
3月24日(金) 13:30～	おぐに開発総合センター	町内事業所のかた

3月から試験運用を開始します

システムの正常動作確認等の点検を行うため、3月から試験運用を開始します。

午前12時（正午）に防災ラジオと屋外スピーカーから約20秒間の音楽が流れます。

また、ラジオを視聴している場合でも、試験放送が優先して流れます。屋外スピーカーは、天候や風向きによって、放送が聞こえにくい場合があります。

■問合せ

～防災行政通信システム全般について～町民税務課町民生活担当（☎62-2260）へ

～防災ラジオの使用方法について～防災ラジオコールセンター（☎0120-388-280）へ



※防災ラジオがまだ届いていないご家庭がありましたら、役場までご連絡ください。

沖庭地区小さな拠点研修会



1月31日、沖庭地区小さな拠点研修会が旧沖庭小学校で開催され、沖庭地区の住民約20人が参加しました。研修会では、川西町の吉島地区で地域づくり活動を展開しているNPO法人きらりよしじまネットワーク事務局の高橋由和氏を講師に招き、地域づくりの必要性や活動などについて学んだあと、テーブルごとに分かれワークショップが行われました。自分の住む地域に点数をつけ、なぜ100点でないのか、その課題を解決するためにはどのようなことを地域でしていきたいかなど、それぞれが意見を出し合いながら地域活性化のヒントを学びました。

小野寺泰さんを招いて 小国町スポーツ講演会を開催

1月28日、おぐに開発総合センターで小国町体育協会表彰式並びに小国町スポーツ講演会が開催され、約150人の方々が参加しました。



表彰式では、昨年各種スポーツ分野で活躍した選手や指導者67人が表彰されたほか、長年体育振興等に貢献のあった2人のかたへ感謝状が贈呈されました。

講演会では、本町出身で平成元年のはまなす国体柔道競技成年男子で優勝経験のある、学校法人羽黒学園羽黒高等学校教頭で柔道部顧問の小野寺泰氏を講師に招き、「スポーツから得たもの」と題し講演をいただきました。小野寺氏は、中学・高校・大学でスポーツを通して様々な人との出会いがあり、そうした経験から学んだことについて笑いを交えながら話し、「人との出会いを大切にしてほしい」と会場に集まった方々へメッセージを送りました。

防犯灯を寄贈いただきました



東北電力(株)長井営業所(五十嵐順子所長)と(株)ユアテック米沢営業所(村岡学所長)から、LED防犯灯6基と取付工事一式が寄贈されました。

これは、両社が社会貢献活動の一環として、東北電力(株)が灯具を寄贈し、(株)ユアテックが取り付け工事を行っています。

寄贈いただいた防犯灯は、町防犯協会と連携しながら設置箇所を選定し、町内の暗がり解消のため活用していくこととしています。

小国町地域起業セミナーを開催しました

小国町地域起業セミナーが、2月7日、アスモを会場に開催され、約20人のかたが参加しました。セミナーでは、中小企業や個人事業を対象にマーケティング支援を展開するマーケティング・プロ代表の高橋由紀子氏と山形県よろず支援拠点シニアコーディネーターの大串康喜氏を講師に招き講演が行われました。

高橋氏は、「商品企画の際、使用場面やターゲットにより見た目も価格も異なるため、商品の価値を作る側が理解する必要がある」と話されました。また、大串氏は、「いい商品を開発しても安定供給されなければ事業として成り立たないため、安定供給が重要である」と話されました。県や町では、起業を考えているかたへの支援制度を設けていますので、ご相談があるかたは産業振興課商工観光室までぜひご相談ください。

■産業振興課商工観光室
(☎62-2416)





学生目線の活性化アイデアを提案 ～小国町役場ラウンジ＆白い森木工館を活性化する家具デザイン～

東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科（藤田寿人准教授）の2年生の学生による、役場ラウンジと白い森木工館を活性化する家具デザイン発表会が、2月4日、白い森交流センターリふれで行われ、約30人が参加しました。これは、同学科の演習の一環として「パブリックファニチャー」というテーマのもと、昨年9月から本町を訪れながら、役場ロビーと木工館を題材に、各施設の良い点や改良点を探るとともに、小国らしさ溢れるデザインとはどのようなものかといった検討・企画が提案されました。演習では、オフィス家具などを手掛ける榎岡村製作所のデザイナーや小国町民有志の方々からアドバイスを受けながら進められました。

発表会では、役場ロビーの四季ごとのスペース利用法の提案や、ナメコ型のソファやブナの芽生えをイメージしたテーブルなど、小国らしさが詰まった家具が紹介されました。また、木工館の充実した加工機材を有効活用するため、自らのアトリエや工房を持たない若手デザイナーと連携した取り組みや親子向けのワークショップ開催など、施設活性化策が提案されました。



小学生3人が全国大会に ～全日本スノーボード選手権大会出場決定～



2月12日、福島県の南郷スキー場で行われた第35回全日本スノーボード選手権大会関東・東北大会ハーフパイプユースの部において、小国小学校3年の舟山京（ちか）さん（越中里・写真中央）、同校5年の遠藤倭杜（やまと）さん（大宮・同右）が男子の部で東北で1位2位になり、同校5年の舟山聖（ひじり）さん（越中里・同左）が女子の部で東北1位となり全国大会への切符を勝ち取りました。

3人は、3月14日、岐阜県の高鷲スノーパークで開催される第35回全日本スノーボード選手権大会に出場します。小国町から出場する3選手の全国大会での活躍が大いに期待されます。

小国の景色を堪能 ～横根でべそ山トレッキング～

2月4日、小国山岳会とNPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊が共催する横根でべそ山トレッキングが開催され、県内外から約60人のかたが参加しました。小雨が舞う中、参加者は列になり、先頭のかたが深雪をかきわけて進みました。約2時間30分をかけて山頂に到着し、雪で作ったテーブルとイスで昼食を楽しみました。

山頂では参加者を待ち構えていたかのように青空となり、陽差しのなか、持ち寄った昼食をおすそ分けして全員で登山を満喫していました。

帰りは町の全景を見ながら尻滑りや会話をしながら、参加者同士の親睦を深めていました。



あっちに、いげえ～ ～おぐに保育園豆まき会～

2月3日、節分のこの日おぐに保育園では、園児たちによる豆まきが行われました。この日のために園児一人ひとりが作成した個性あふれる鬼のお面をかぶり、わくわくドキドキしながら鬼の登場を待ちかまえていました。

鬼に扮した保護者と職員が登場すると、子どもたちは「鬼は外、福は内」の掛け声とともに、勢いよく豆を投げつけたり鬼が怖くて逃げ回ったりしていました。



思い思いの時間を満喫 ～第35回つる細工講習会～



第35回つる細工講習会（町観光協会主催）が、1月25日～27日の3日間、飯豊梅花皮荘で開催され、町内外から42人が参加しました。

14人が初参加で、例年参加しているかたを講師に基礎から指導を受けていました。初めは慣れない手つきでしたが、制作を進めるうちに上達し、思い思いの作品を制作していました。参加者は、和やかな雰囲気の中、参加者同士でアドバイスや意見交換をしながら作業を進め、一人ひとりが充実した時間を過ごしていました。



地域おこし協力隊 みやざき 宮崎 みほ 美穂



「待ち遠しい、春。」

日ごとにほのかな春の移ろいを感じ、高く積もった雪が次第に沈み始めるころ、雪の下ではじわじわと山菜が雪どけ水を吸いあげて、春の日差しのもと勢いよく吹きでる瞬間を待っていることでしょう。

2月は、首都圏の大学生と共に、北部の山中での「うさぎ追い」や既存商品のリ・デザイン「買いたくなる商品企画」を行ない、まだまだ知らないことがたくさんあると痛感しました。小国町で地域おこし協力隊の活動を始めてから、1年余り。上手くいった事も、思い通りに進まなかった事も、様々な経験させて頂きました。

3月6日にはアスモ3階で、9日にはりふれにて、一年間の活動成果と来年度の意気込みなどを町民の皆様に向けて発表する機会を予定しております。皆さま足をお運び頂ければ幸いです。もう少し寒い日が続きますので、気を抜かず過ごしていきたいです。

ご案内

こころの健康相談
統一ダイヤルのお知らせ

3月は「自殺対策強化月間」です。毎年、県の精神保健福祉センターでは、こころの健康相談を実施しています。

☎0570・064・556

3月1日(水)～3月7日(火)

午前9時～午後5時

■その他 右記の期間以外

は、(☎023・631・

7060)午前9時～正午、

午後1時～午後5時、(月)～

(金)(祝祭日・年末年始除く)

で受け付けています。

ARTS MEET OKITAMA
2017開催のお知らせ

置賜地域で活動が続いている、または置賜地域で生まれた作家等の作品を広く募集し、幅広い世代とジャンルによる置賜のアートを一堂に展示する展覧会を開催します。

■期間 3月18日(土)～26日(日)

■時間 10時～18時

■場所 よねざわ市民ギアラ

リー(ナセBA内)

■入場料 無料

■その他 作品は購入可能

■問合先 よねざわ市民ギアラ

フリー(☎0238・22・

6400)へ

募集

町営住宅入居者募集

《あけぼの高齢者団地》

1LDK 1戸(1階)

■家賃 所得と家族構成による

■対象

▽世帯所得が月額21万4千円以下で住宅に困っているかた

▽60歳以上のかたで自立した

生活をおくることができ同居

居の場合は同居するかたが

配偶者または60歳以上の親

族であること。

《小坂町勤労者住宅》

2DK 2戸(1、2階)

2K 1戸(3階)

■家賃 38000円(2DK)

33000円(2K)

■対象 町内事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 3月10日(金)

■入居時期 3月下旬以降

■問合先 地域整備課建設管理室(☎62・2431)へ

介護老人保健施設温身の郷

介護員募集

職員・人数 介護員1人

■雇用期間 採用日から平成

29年3月31日(継続可)

■業務内容 介護老人保健施設

設における介護業務

■勤務形態 交代勤務あり(日

勤・早番・遅番・夜勤)

■雇用条件 性別・学歴・年齢・

資格不問(ただし、資格を

有していれば優遇)

■賃金 時給750～850円

■試験内容 面接のみ

■応募方法 介護老人保健施設

設にお電話でお問い合わせ

ください。

■応募申込・問合先

介護老人保健施設温身の郷

(☎61・1200)へ

予備自衛官補募集

募集種目

予備自衛官補(一般公募)

■応募資格

18歳以上34歳未満のかた

■受付期間 4月7日(金)まで

■試験日 4月14日(金)～18日

(火)(うち1日を指定されま

す。)

※一般の社会人や学生といっ

た自衛官未経験者を「予備

自衛官補」として公募・採

用する制度です。

■問合先

自衛隊米沢地域事務所(☎

0238・23・0011)へ

お知らせ

山形大学医学部附属病院
肝疾患相談室のご案内

山形大学医学部附属病院では、肝疾患に関する相談、医療情報提供、専門医療機関の紹介などを無料で行っています。また、相談内容に応じて医師面談(予約制)を行っています。どうぞお気軽にご相談ください。

■電話相談受付 毎週月・木

曜日(祝日除く) 13時～16時

☎023・628・5881

■医師面談 毎週月曜日9時

～12時(予約制)

3月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 3月10日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成28年11月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 3月10日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成28年3月生まれ

■1歳6か月児健診

- ・期 日 3月3日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 平成27年7月、8月、9月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センターへ

子育て支援センターから

■3月の広場日程

広場名称	曜日	時間
なかよし広場	月 火 木	9:30~11:30
赤ちゃん広場 		13:00~15:30
ゆきんこ広場	水・金	13:00~15:30

■対象者

- なかよし広場 就学前のお子さんとお家のかた
- 赤ちゃん広場 18カ月までのお子さんとお家のかた
- ゆきんこ広場 就学前のお子さんとお家のかた

■その他

申込不要です。お気軽にご参加ください。(時間までに会場へお集まりください。) 平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合先 子育て支援センター (おぐに保育園内 ☎62-2330)

求 人 情 報

右の表は2月20日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。

※町ホームページに求人情報を掲載しています。

今月の納税 2017.3

3月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●3月27日(月) 水道料

●3月31日(金)

国民健康保険税・後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先

町民税務課税政管理室へ

事業所名	職 種	求人数	勤務時間
カインドネス(おぐに調剤薬局)	医療事務	1人	8:30~17:30 他
日本重化学工業(株)小国事業所	電子材料の製造スタッフ	10人	8:15~17:15 他
クアーズテックマシンナリ(株)	技能職(配管工)	1人	8:20~17:10
	技能職(電気工)	2人	8:20~17:10
	施設管理員/オートキャンプ場	1人	8:30~17:30
	施設監理員/温水プール	1人	9:00~18:00 他
おぐに白い森(株)	応接員	2人	7:00~19:00 他
	調理補助員	1人	
大河内産業(有)	ダンプ・重機運転士	1人	8:00~17:00
	砂利プラント運転士	1人	
(株)コメリ 新潟地区本部	総合職・エリア社員(長井地域)	3人	8:45~17:45 他
安部工業(株)	型枠大工	1人	8:00~17:00
	現場監督員	2人	
	運転手	2人	
(株)横川建設	事務員	1人	8:00~17:00
	重機オペレーター見習い	2人	
	自動車整備工	1人	
	作業員	2人	
	現場管理(1級または2級土木施工管理技士)	1人	
	営業(見習い)	1人	
	配送運転手	1人	
(有)三栄自動車工業	自動車整備士	1人	8:30~17:30
社会福祉法人 小国福祉会	看護師(常勤正規職員)	1人	8:00~17:00 他
(有)東部開発	農作業員	2人	8:00~17:00
(株)小国いきいき街づくり公社	販売員及び一般事務	1人	9:00~18:00
	販売員(パート)	1人	9:00~13:00 他
社会福祉法人 白百合保育園	保育士	1人	8:30~17:00 他
味処藤よし	調理補助及び接客係【急募】	1人	9:00~14:00
		1人	17:00~21:00

奨学金の貸与を受けている若者の 本町回帰を支援します（市町村連携枠）

町では、若者の本町回帰・定住を促進するため、山形県と連携して、奨学金の貸与を受けている大学生等に対し、奨学金の返還支援事業を実施いたします。

■対象者 ①町内に居住し、県内の高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程を今年度卒業見込みである者、または卒業した者で、②国内に所在する大学等に来年度進学予定、または在学中で、③日本学生支援機構の第一種または第二種奨学金の貸与を受けている、または受ける予定である者

■助成内容 大学等を卒業後、6カ月以内に町内に居住して県内に就業し、かつ3年以上居住、就業を続けた場合に、奨学金返還残額に対して助成します。

※上限額があるほか、このほかにも条件がありますので、応募の際にご確認ください。

■応募期間 平成29年4月28日(金)まで

■問合・応募先 総務企画課政策企画担当（☎62-2264）へ

「看護師等職場説明会」を開催します

看護学生、看護職の資格をお持ちのかたが各病院のブースを自由に訪れ、求人担当者と面談し、看護内容、院内教育や採用条件などの説明を受けることができます。

■日時 4月1日(土)13:00～16:00

■場所 山形テルサ3Fアプローズ
(山形市双葉町1-2-3)

■内容 各病院・訪問看護ステーションのブースでの職場説明、介護・福祉分野の就業相談、山形方式・看護師等生涯サポートプログラムの説明コーナー

■対象 山形県内に就職を希望される①看護学生（最終学年のかた）、②Uターンを希望するかた、③未就業のかた

■参加費 無料（申込不要、直接会場にお越しください。）

■問合先 公益社団法人山形県看護協会
(☎023-685-8033) へ

総合センター図書室から

～新着図書～

◇みかづき

◇罪の声

◇王とサーカス

◇希望荘

◇蜜蜂と遠雷

休館日 毎週月曜日・祝日

森 絵 都

塩 田 武 士

米 澤 穂 信

宮 部 み ゆ き

恩 田 陸

相 談

▽年金相談

■日時 3月15日(水)
10:30～14:00

■場所 役場町民相談室

■対応者 米沢年金事務所職員

■申込み 事前に申込みが必要です。

■申込・問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽人権相談

■日時 3月15日(水)
10:00～12:00

■場所 おぐに開発総合センター

■対応者 町人権擁護委員

■問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽消費者相談

■日時 3月25日(土)
10:00～12:00

■場所 役場

■対応者 司法書士 舟山健蔵 氏

■申込み 事前に申込みが必要です。

■申込・問合先 町民税務課町民生活担当へ

地域の文化活動を応援します

置賜文化フォーラムでは、置賜地域の皆さんが平成29年度に企画運営する文化イベント等の事業を支援します。

■事業の例 置賜地域の文化資源の利活用、置賜地域の複数の団体による市町の枠を超えた広域的連携、次世代の文化を担う人材の育成等により、置賜地域の文化振興に資する内容を有する公演、展示、コンクール、ワークショップ、交流事業等

■支援内容 補助金を交付します。

■応募締切 平成29年4月14日(金)

■募集要項

置賜文化フォーラムホームページからダウンロードできるほか、町教育委員会で配布しています。

■申込・問合先

置賜文化フォーラム事務局（置賜総合支庁総務課連携支援室）（☎0238-26-6018）へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代) fax62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112
- 企画財政室 ☎62-2264
- 国保医療担当 ☎62-2261
- 税政管理室 ☎62-2403
- 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 農林振興室 ☎62-2408
- 商工観光室 ☎62-2416
- 会計室 ☎62-2406
- 建設管理室 ☎62-2431
- 建設技術室 ☎62-2432
- 議会事務局 ☎62-2448

3月の あい貝イベント MIXCUP フットサル大会



- 日 時 3月19日(日) 9:00～
- 対 象 高校生以上(男女各3人 6人制)
- 持ち物 室内シューズ、飲み物など
- 参加費 1人500円(保険代込み)
- 申込締切 3月9日(木)
- 申込・問合先
(☎62-5808)

おぐにYui
スポーツクラブ

くりえいと工房 再生品提供のお知らせ

千代田クリーンセンターくりえいと工房では、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、展示及び提供を行っています。

- 提供品 自転車10台 家具類5点(1回毎予定数)
- 応募方法 工房に備え付けの申込用紙により応募してください。抽選により当選者を抽選します。
- 時 間 午前9時から午後4時まで
- 料 金 無料

	展示期間	公開抽選 ※午前10時	引取期限
第1回	4月5日(水) ～5月6日(土)	5月9日(火)	5月27日(土)
第2回	6月7日(水) ～7月1日(土)	7月4日(火)	7月29日(土)
第3回	8月2日(水) ～9月2日(土)	9月5日(火)	9月30日(土)
第4回	10月11日(水) ～12月2日(土)	12月5日(火)	12月23日(土)

- 問合先 千代田クリーンセンター施設第2係
高島町大字夏茂2933番地
(☎0238-57-4004)

映画「ふたりの桃源郷」

小国町上映会

小国町で映画「ふたりの桃源郷」を上映します。“最期まで山で、最期までふたりで”ある夫婦と支える家族の25年を記録した、ドキュメンタリー映画です。

- 期 日 3月26日(日)
- 時 間 各会場30分前開場
会場①10:00～ 旧小玉川小中学校
会場②15:00～ おぐに開発総合センター
- 料 金 一般1,200円(前売り1,000円)、小・中・高1,000円(前売り800円)、未就学児は、親1人につき1人まで無料。2人目からは有料(小・中・高料金)
- その他 会場②のみ、別室で絵本の読み聞かせ託児サービスがあります。(要予約)
- 問合先 小国で映画「ふたりの桃源郷」を上映しよう実行委員会事務局 大沼洋美
☎: 080-5571-0909
E-mail: hiromi.onuma@gmail.com

置賜保健所の移転のお知らせ

保健所では、医療、食品、動物愛護、各種免許の申請や子育て、難病、こころの健康、感染症予防などの相談をお受けしています。

4月1日より下記に移転することとなりました。それにより、様々なサービスがワンストップで対応可能となります。ただし、検便等の検査を行う検査室は、従来通り現在の保健所庁舎となります。

- 移転先 置賜総合支庁本庁舎1・2階
- 電 話 0238-26-6000(4月1日～)
※各担当直通番号は変更ありません。

- 問合先(～3月31日)
置賜保健所保健企画課(☎0238-22-3000)へ

入札結果情報(平成29年1月21日～平成29年2月20日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H29.1.25	平成28年度町道松岡黒沢峠線黒沢橋護岸復旧詳細河川測量業務委託	黒沢	H29.3.3	1,830,000	(株)小国測量設計事務所	1,700,000
H29.1.25	平成28年度社会資本整備総合交付金事業町道遅越間瀬線間瀬橋橋梁補修工事	沼沢	H29.3.24	16,080,000	遠藤建設(株)	15,500,000
H29.1.25	平成28年度社会資本整備総合交付金事業町道片貝線片貝沢橋橋梁補修工事	片貝	H29.3.24	5,243,000	玉川開発(株)	5,200,000
H29.1.26	平成28年度小国地区農地耕作条件改善事業松岡幹線水路整備工事	町原	H29.3.17	9,864,000	大和建設運輸(株)	9,400,000
H29.1.26	平成28年度小国地区農地耕作条件改善事業町原排水路ゲート変更工事	町原	H29.3.17	3,696,000	斎藤建設(株)	3,600,000
H29.2.13	平成28年度社会資本整備総合交付金事業町道館貝少線貝少橋橋梁補修工事	若山	H29.3.24	2,747,000	(株)アラマサ	2,700,000
H29.2.13	平成28年度社会資本整備総合交付金事業町道山崎新設線大洲橋橋梁補修工事	新股	H29.3.24	4,593,000	安部工業(株)	4,450,000
H29.2.13	平成28年度社会資本整備総合交付金事業町道黒沢小屋湯の沢線大手倉橋橋梁補修工事	黒沢	H29.3.24	8,839,000	斎藤建設(株)	8,750,000
H29.2.13	平成28年度町岩地区導水路落雪防止梁設置工事	町原	H29.3.24	2,899,000	(株)船山工務店	2,700,000
H29.2.13	平成28年度歯科訪問セット購入	あけぼの	H29.2.28	3,000,000	山形小木医科器械(株)	2,500,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



戸籍のまど

(1 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

岩井 沢 廣 谷 仁 美 (和 之 真 由 美)

結婚おめでとうございます。

(小 国 町 仁 科 憲 治
東 原 金 沢 友 香 里)

おくやみ申し上げます。

北	田	中	秀	市	(52)
綱木箱口	舟	山	ヒロノ		(94)
樋ノ沢	山	口	貞	次	(82)
太鼓沢	齋	藤	和	義	(69)
伊佐領	木	村	市太郎		(84)
古	田	木	村	キクエ	(105)
兵庫館	小	関	保	男	(82)
沼	沢	加	藤	豊	一 (85)
北	砥	石	六	郎	(87)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成29年 1月31日現在)

人口	男	・・・	3,934 人	(- 7)
	女	・・・	4,051 人	(- 8)
	計	・・・	7,985 人	(- 15)
世帯数			3,103 世帯	(- 1)

編集後記

晴れた日には建物の
中よりも、外のほうが
暖かく感じられる季節
になってきました。
情報局に掲載しまし
たが、小学生3人がス
ノーボード HALFパイ
プ競技で全国大会に出場し
ます。ソチオリンピック銀
メダリストの平野歩夢選手
が、小さい頃から練習して
いた横根スキー場ハーフパイ
プでは、様々なイベント
も開催され、数年前に比べ
多くのちびっこライダーが
いるように感じます。平野
歩夢に続け!!がんばれおぐ
にっ子!! (斎藤)

シリーズ⑪

僕たち、私たちのスポーツ少年団

『沖庭スポーツ少年団』



沖庭スポーツ少年団は、小学生7人、中学生5人の合計12人で活動しており、保護者の方々と一緒にフットサルやスキーなど様々なスポーツに取り組んでいます。個人競技のスキー大会などにも出場し、天元台カップで優勝するなどの成績を収めています。

代表指導者の高橋健さん(小渡)は、「沖庭スポーツ少年団は楽しくをモットーに活動しています。保護者同士も仲が良く、子どもたちを地域ぐるみで育てています。活動を通して子どもたちには自分から何事にも進んで取り組める自立した子どもになってもらいたいです。また、上級生が下級生の面倒を見るなど、代々受け継がれてきた姿が自然になり大変感心しています」と話してくださいました。

中学生の齋藤詩音さん(尻無沢)は、「沖庭スポーツは、小学生から中学生まで全員が元気で明るくチームワークがいいです。沖庭スポ少での活動を通して、沖庭の人とのつながりを大事にして、相手を思いやれるようになりたいです。」と話してくれました。

町内どの地区の子でも大歓迎!!

募集団員	小学校1年生～中学生
活動内容	夏：フットサル等 冬：スキー
活動日時	月2回隔週金曜日 19:00～21:00 (冬期は週1～2回)
活動場所	旧沖庭小学校体育館他
問合先	代表指導者 高橋 健 (62-3660)